



## ニューポート訪問体験記

### 中学生編

下田東中学校 土屋太一  
ホストファミリーに会うまでは、不安な気持ちでいっぱいでした。しかし、ニューポートの人々と触れ合う中で、そんな気持ちも少しずつ変わっていききました。

僕が、ホームステイを通じて一番感じた事は、ホストファミリーの温かさです。出発する前に、あいさつのメールを送ると、すぐに返信があり、ホームステイ中の生活について情報交換をすることができ、少し気持ちが楽になりました。そして、会うことが楽しみになってきました。だから、初めてホストファミリーに会ったときは嬉しかったです。

しかし、伝えたいことを英語で表現するのが難しく、自分の実力の無さを思い知らされ、心が折れそうになりました。そんな時、ホストファミリーの皆さんが一生懸命理解しようとしてくれました。本当に感謝しています。  
また、地域の方々ともパーティーやクルージングを通して、自然な形で交流することができ、言葉や文化は違っても、一緒に楽しい時間を過ごすことができるのだと実感しました。ホームステイをした五日間の出来事は、僕にとっても良い思い出です。自信がなくても、自分のことを分かってもらうためには、積極的に行動するのも大切だと学びました。それと同時に、英語が分かるようになっていきたいと思います。

下田中学校 相楽あおい  
ニューポートを訪れて一日目、ホストファミリーたちに会いました。私のホストファミリーになってくれた人は下田の黒船祭のときに、私の家にホームステイしたモリーさん家族だったので再会がとても楽しみでした。ホストファミリーは本当に優しく、そしておもろく、とても親切に接してくれました。  
二日目は、記念式典に参加し昼食はニューポート美術館で食べました。アメリカの食べ物には日本と全然違い、違和感を感じました。  
三日目は、凧作りをしました。凧作りはたくさんの方が来てくれて、本格的な凧を一生懸命作ってくれました。英語で説明することは難しく、日本語に日本語になってしまいうこともあったけれど、ジェスチャーなどを使いながらコミュニケーションをとっていききました。  
四日目はペリー提督墓前祭に行きました。そのあとはホストファミリーの中学生と下田の中学生ですつとおしゃべりをしていました。日本語が全然通用しなくて困ったことも何度かあったけど、何となく言っていることがわかり一緒に笑いあうことができました。  
五日目からホストファミリーという時間が多くて、海でバーベキューをしたり、ショッピングをしたり、毎日のように色々なパーティーに参加したり、本当に色々なことをさせてもらい毎日がとても充実しました。日本に帰る前日は大きなパーティーを開いてくださいました。歌ったり踊ったり本当に楽しかったです。このとき本当に、「帰りたくない」と思いました。  
この十日間、一生忘れられないような貴重な思い出になりました。そして、「帰りたくない。また絶対に行きたい。」と思えるような素晴らしい経験になりました。

これからもニューポート市と下田市との中学生交流を続けてほしいです。

### 稲梓中学校 近藤大地

出発する前、不安がありましたが実際に行ってみると、ホストファミリーなどたくさんの人たちが話しかけてくれてとても嬉しかったです。自分も積極的に話しかけようと思いましたが、ニューポートに話しかけてみました。しかし自分の話している英語が伝わらなかつたり、スピードが速くて答えてくれた内容を聞き取れなかつたこともありました。ゆっくり、ジェスチャーを交えて話してくれて理解することができました。三日目にはニューポートの人たちにタコの作り方を教えました。言葉だけではなかなか教えられなかつたのでジェスチャーも使いながら教えました。

ホストファミリーとも様々な体験をしました。ポートに乗ったり、ショッピングをしたりしました。ポートに乗っている時の風が気持ちよかったです。ショッピングはとて大きなショッピングモールに行っただけで大きさに驚き

が楽しむことができました。さらにホストファミリーが音楽家だったため、彼の演奏にも行きました。彼の演奏にとっても感動しました。出発日の前日にはニューポートコミュニティスクールという日本という学童のような施設で子どもたちと一緒に授業を受けたり、昼食を食べたりしました。子供たちとたくさん話ができ楽しかったです。

このニューポート訪問からたくさん学ばせていただきました。英会話も最初は苦戦しましたが、だんだん慣れてきて会話が楽しくなりました。会話をすることの楽しさと大変さを知りました。  
稲生沢中学校 飯田来夢  
日本と異なった文化に対応できるかや、英語が通じるかなどたくさん不安がありました。しかし、ホストファミリーと対面すると沢山の不安は一瞬で消え去りました。ホームステイの日をかさねるたびに、様々な文化の違いを実感し、戸惑うこともたくさんありましたが、ホストファミリーはとても親切に教えてくれ、ア

メリカの文化をじかに学ぶことができました。

そして、ホームステイ先ではポートに乗ったり、買い物したり、毎日のように色々なパーティーに参加したり、海に行ったりなど毎日がとても充実して楽しく、たくさん体験をさせてもらいました。  
また、そのような体験をしていきながら過ごしていく中には、もちろん日本語は通用せずコミュニケーションをとることはとても努力のいることでした。でもゆっくりと話してくれたり、一度で聞き取ることのできないときには何度も言ってくれたりと分かりやすく話してくれました。私も何とか聞き取り、自分の思っていることを伝えようと努力しましたがなかなか伝わらず苦勞しました。ジェスチャーを加えることで伝わったり、コミュニケーションをとることができたときはとてもうれしかったです。

この十日間、慣れない言葉や文化に触れ、とても貴重な経験になりました。  
これから、私たちがアメリカと日本をつなぐかけはしに

なれるように努力していきたいと思います。

### 引率教諭 稲梓中学校 米山寛人

ニューポートの方々の厚い歓迎やホストファミリーの様々な気遣いにより、安心して充実した十日間を過ごすことができました。その中で感じた二つの事について書いていきます。  
まずは言葉の壁についてです。中学校英語教師としてアメリカでの生活は、本物の英語に接することのできる有意義な生活であった。ネイティブの話す英語が理解できる喜びや英語を話すことの難しさを感じる事ができました。

また、頻繁に使われる単語やフレーズ、教科書には出てこない話し言葉独特の言い回しなど、日本では学ぶことができないことが多くあったように思う。英語を教える立場として、英語の奥深さを改めて知る良い機会であったし、今後の学習の動機付けにもなった。  
中学生にとっては、英語でのやり取りは困難を極めたと思うが、英語が分かったとき

の喜びや通じたときの達成感に格別であったことだろう。

このような経験が今後の英語学習への動機付けになるだけでなく、将来の進路選択にも影響するのではないだろうか。次は文化の違いである。季節、歴史、食事などの違いの積み重ねにより、国同士の文化の違いは莫大なものになる。朝起きてから、夜寝るまでに食べたもの、見たもの、聞いたもの、触れたもの、嗅いだもの、五感全てで感じる事ができる。それらを感じるためには、自国の文化を熟知している必要がある。自国の生活を十分に理解し、他国の生活様式や考え方を学ぶことは、これからの時代の力ギとなるものである。

中学生のうちに、文化の違いを感じることは、将来必ず役に立つことであり、考え方や見方を広げる良いきっかけとなったことは間違いない。中学生をニューポート市に派遣するこの事業は、これらの事から教育的価値が非常に大きいものであると感じた。是非、続けていたいただき、これからの世代にも異文化を肌で感じる機会を与えてほしいと思ふ。